

明海大学 不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第244回

## 【学生の目】

街やテレビで黒い外壁の倉庫のような家を見ることが多くなった。ベージュやアイボリーなど明るい色を用い、濃くてもせいぜい茶色までのことが多いなか、なぜ

黒い家を建てるのか。黒い外壁の住宅は、シン

ブルな形も特徴だ（写真）。このような住宅で外壁を黒くするメリットはまずシンブルな形の住宅は軽く見えがちだが、黒くすれば重量感が出る。次にシックでおしゃれな印象になる。さらに汚れが目立たず外壁清掃などメンテナンスの周期を長く



西川 美波  
不動産学部4年

## ブルックリンスタイルの家

# 黒い外壁を明るくするには

マイナスの影響を及ぼす懸念がある。漆喰の白、木材の薄茶や瓦の灰色を基本とする日本で、黒い壁の住宅が建てられる背景の一つに、古い倉庫やアパートが立ち並びニューヨークのブルックリン地区のライフスタイルに対する憧れがある。

ブルックリンスタイルは、コンクリートなどの古いスケルトンに新旧

の多用なインフィル、家具や雑貨など、気に入ったものを組み合わせて独特の雰囲気演出する点が特徴だ。様々な素材を用いながら統一感を出すには、無彩色を基調とすることがポイントである。無彩色には白、灰色、黒があるが、近代的な利用から見放された古い既存建物の汚れや傷みを目立たなくさせるには黒が適する。

決して高級ではない場所や素材を使いながら個性を演出して自分らしく生きる、憧れの暮らし方としてブルックリンスタイルを位置づける人

たちが、その建築様式を日本に導入している。

写真の住宅は黒の外壁のほか、シンブルな形と資材数の削減でローコスト化を図っている点に個性がある。一方で、様々な素材に統一感を持たせる元祖に立ち返ると、建物全体を黒にするのではなく、いくつかの色の一つに黒を用いることや、建物全体を一つ素材で仕上げるので



なぜ黒い外壁の家を建てるのか、考えた

は、なく、いくつかの素材をコーディネートする方がより個人的ではないかなど、見慣れない黒の住宅を楽しく明るい黒にする方法を連想した。

## 【教員のコメント】

建築確認制度の日本では、形態制限に合致すれば形や色彩は規制されない。多様で個人的な住宅を建設可能とする一方、個性性が強く中古流通が困難な住宅を生んでいる。社会性をもつ建物の個性は周りにも受け入れられる個性である必要がある。